

# ■通学路対策箇所図

別紙2-②  
令和5年8月現在

○路側線+カラー舗装



路側帯のカラー舗装(明確化)  
により、歩行空間を視覚的に確保し、  
歩行者の通行の安全性を高める。

○交差点表示+カラー舗装(赤茶)



信号のない見通しの悪い交差点を  
カラー舗装(明確化)することにより、  
視覚的にドライバーに注意を促す。

※プログラム策定  
以前に対策完了済

○横断歩道  
+カラー舗装(赤茶)



通行の危険箇所の一つである  
横断歩道部をカラー舗装(明確化)  
することにより視覚的にドライバー  
に注意を促す。  
(小学校の入口付近等)

○路面標示  
(通学路マーク、スクールゾーン)



車両がスピードを出し危険。  
車両の交通量が多く歩行者との接触が懸念される。  
見通しの悪い交差点が多く危険。

全小学校区

<対策メニュー>  
・路面カラー化  
(対策完了)